

令和2年度

北九州市
障害福祉サービス等ニーズ把握調査
報告書

概要版

令和2年12月
北九州市保健福祉局

第1章

調査の概要

第1節 北九州市障害福祉サービス等ニーズ把握調査

1. 調査目的

この調査は、「第6期北九州市障害福祉計画」及び「第2期北九州市障害児福祉計画」等の基礎資料とするとともに、今後の障害福祉施策の参考とするため、北九州市内に在住する障害のある人に対して、生活実態やサービス利用状況等について調査したものです。

2. 調査の概要

- (1) 調査方法 郵送によるアンケート
- (2) 調査実施時期 令和2年9月1日～令和2年9月30日
- (3) 調査対象数 5,259人

3. アンケートの回収状況

対象区分	調査対象者(人)	回収数(票)	回収率(%)
身体障害のある人	2,095	938	44.8
知的障害のある人	985	428	43.5
精神障害のある人	1,439	561	39.0
障害のある子ども	357	159	44.5
難病患者	383	191	49.9
合計	5,259	2,277	43.3

※なお、発達障害のある人の集計については、各障害種別の調査結果のうち、「発達障害と診断されている」と回答した人を抽出し集計を行いました。発達障害と診断されている回答者数は、下表のとおりです。

(人)

障害種別	身体障害	知的障害	精神障害	障害のある子ども	難病	合計
発達障害と診断されている	35	178	149	75	4	441

第2章

主な調査結果

第1節 調査対象者の属性

■対象者の年齢についてみると、身体障害のある人では50歳代、知的障害のある人では30歳代、精神障害のある人では40歳代、難病患者では60～64歳、発達障害のある人では20歳代の割合が最も高くなっています。

【 年 齢 】

	身体障害 (n=938)	知的障害 (n=428)	精神障害 (n=561)	発達障害 (n=441)		難病 (n=191)		(%) 障害のある 子ども (n=159)
0～5歳				3.9	0～5歳	0.0	0～2歳	5.7
							3～5歳	22.6
6～11歳				5.2	6～11歳	1.0	6～8歳	18.2
							9～11歳	17.6
12～17歳				7.9	12～17歳	2.6	12～14歳	12.6
							15～17歳	23.3
18・19歳	0.0	0.0	0.4	0.2	18・19歳	4.2		
20歳代	5.8	25.7	20.7	32.0	20歳代	6.8		
30歳代	11.0	31.3	21.0	27.9	30歳代	10.5		
40歳代	17.8	18.9	25.1	12.0	40歳代	14.7		
50歳代	32.1	11.9	21.9	6.6	50歳代	17.8		
60～64歳	7.2	2.1	7.1	1.1	60～64歳	27.2		
					65～69歳	11.0		
65～74歳	25.6	8.9	2.5	2.9	70～74歳	2.6		
75歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	75歳以上	0.0		
無回答	0.5	1.2	1.2	0.2	無回答	1.6		

■重複障害のある人の状況をみると、知的障害と発達障害、難病と身体障害の重複率が高くなっています。

■障害のある子どもについてみると、約7割に身体障害、約6割に知的障害、約5割に発達障害がある結果となりました。

【重複障害の状況】

		重複する障害				
		身体障害	知的障害	精神障害	難病	発達障害
調査票の 障害種別	身体障害 (n=938)		83 (8.8%)	28 (3.0%)	133 (14.2%)	35 (3.7%)
	知的障害 (n=428)	73 (17.1%)		32 (7.5%)	20 (4.7%)	178 (41.6%)
	精神障害 (n=561)	78 (13.9%)	36 (6.4%)		29 (5.2%)	149 (26.6%)
	障害のある子ども (n=159)	115 (72.3%)	96 (60.4%)	2 (1.3%)	23 (14.5%)	75 (47.2%)
	難病 (n=191)	47 (24.6%)	5 (2.6%)	9 (4.7%)		4 (2.1%)
	発達障害 (n=441)	120 (27.2%)	281 (63.7%)	148 (33.6%)	37 (8.4%)	

第2節 暮らしの状況

1. 住まい・暮らしの状況について

■現在の居住の状況については、全ての障害種別において、家族と同居している人の割合が高くなっています。身体障害のある人、精神障害のある人においては、2割程度の方が一人で暮らしており、他の障害種別よりも高い傾向となっています。

■現在、入院もしくは入所している人の今後3年以内の居留意向については、身体障害のある人、知的障害のある人、難病患者、発達障害のある人において、現在のままの生活を希望する人がそれぞれ5割以上と高い傾向となっています。

【現在の居住の状況】

(%)

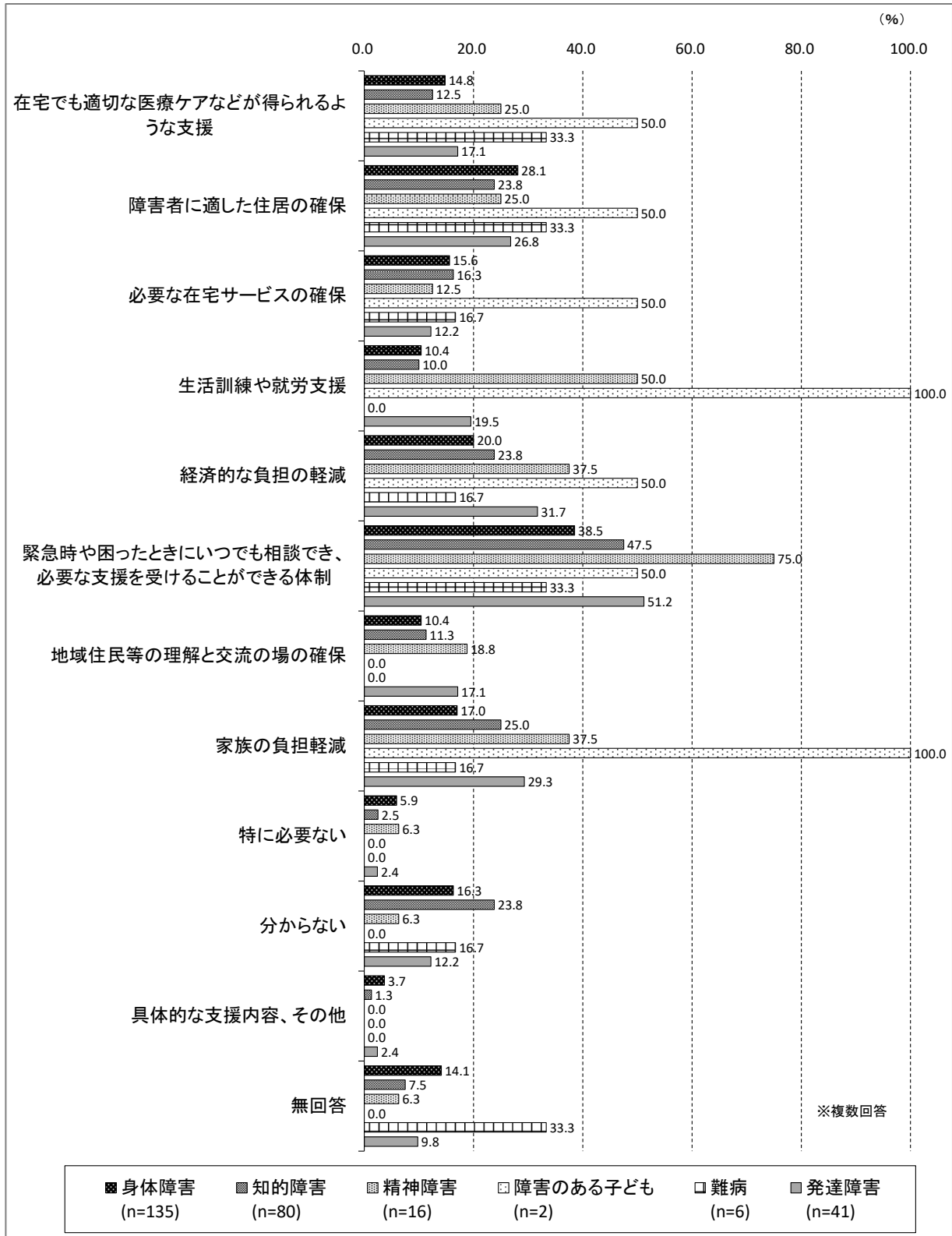
	身体障害 (n=938)	知的障害 (n=428)	精神障害 (n=561)	障害のある 子ども (n=159)	難病 (n=191)	発達障害 (n=441)
一人暮らし	20.5	7.5	20.9	0.0	13.6	8.6
家族と一緒に生活	61.4	63.8	66.1	97.5	79.6	76.4
病院に入院	1.6	2.3	1.4	0.6	0.5	1.8
福祉施設に入所	12.8	16.4	1.4	0.6	2.6	7.5
グループホーム暮らし	1.1	7.2	7.3	0.0	0.5	4.3
その他	1.1	0.7	0.7	0.6	1.0	0.7
無回答	1.6	2.1	2.1	0.6	2.1	0.7

【今後3年以内の居留意向】

(%)

	身体障害 (n=135)	知的障害 (n=80)	精神障害 (n=16)	障害のある 子ども (n=2)	難病 (n=6)	発達障害 (n=41)
今のまま生活したい	62.2	71.3	25.0	0.0	66.7	53.7
グループホーム等を利用したい	2.2	5.0	18.8	50.0	0.0	12.2
家族と一緒に生活したい	9.6	6.3	31.3	50.0	33.3	7.3
一般的な住宅で一人暮らししたい	5.9	2.5	6.3	0.0	0.0	4.9
その他	3.0	3.8	6.3	0.0	0.0	2.4
無回答	17.0	11.3	12.5	0.0	0.0	19.5

■自身が希望する場所で生活していくために必要な支援については、障害のある子ども以外の障害種別において、「緊急時や困ったときにいつでも相談でき、必要な支援を受けることができる体制」が最も高くなっています。



■主な介助者としては、知的障害のある人、障害のある子ども、発達障害のある人においては両親の割合が高く、身体障害のある人、精神障害のある人、難病患者においては、「介助の必要はない」とする人の割合が高い傾向となっています。

■主な介助者の年齢については、障害のある子ども以外の障害種別で「50歳以上」の割合が6～8割と高く、健康状態も「健康に不安がある」「病気がちである」を合わせた割合が4～5割と、介助者が高齢化し健康面に不安があることがうかがえます。

■主な介助者が不在時の代替りの介助者については、全ての障害種別において「他の家族や親族」が最も高くなっています。

【主な介助者】

＜複数回答＞(%)

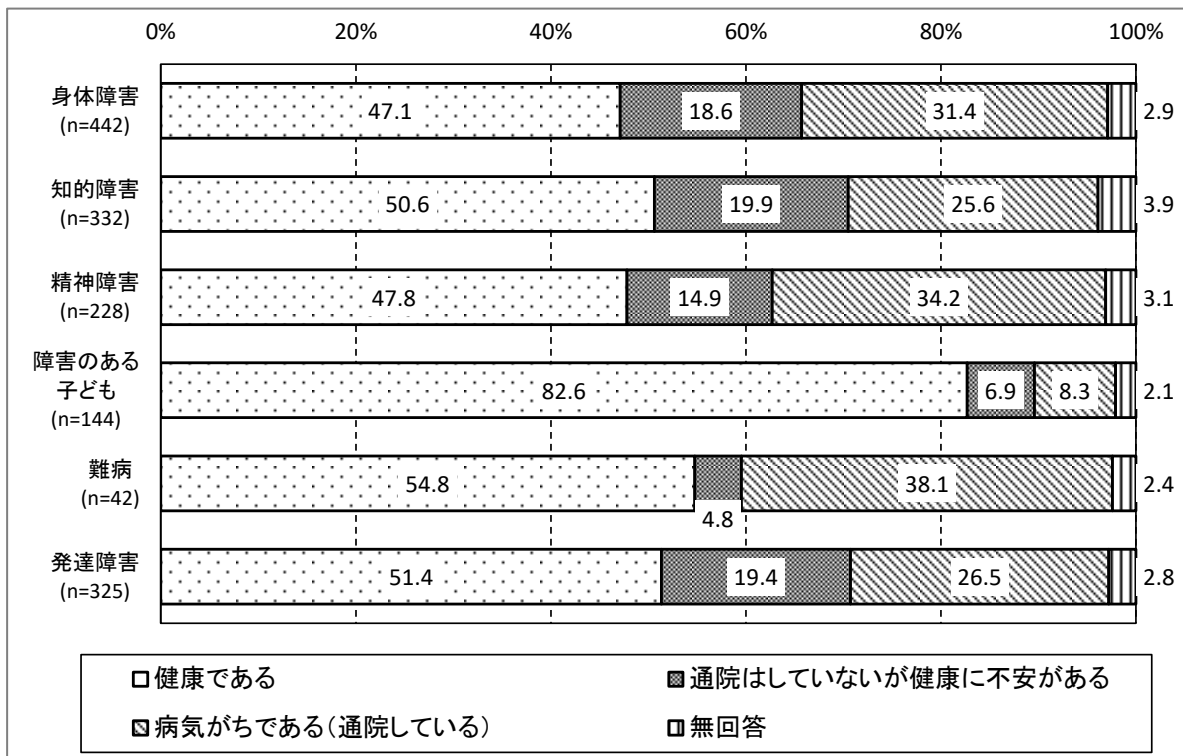
	身体障害 (n=938)	知的障害 (n=428)	精神障害 (n=561)	障害のある 子ども (n=159)	難病 (n=191)	発達障害 (n=441)
配偶者(夫または妻)	19.5	1.9	10.7	1.3	14.1	2.9
父	9.0	38.6	10.9	66.7	4.2	40.4
母	19.8	62.4	23.9	88.7	7.3	64.4
子ども	7.5	1.4	3.9	0.6	6.3	0.7
祖父母	0.6	4.4	1.4	22.6	0.5	6.6
兄弟姉妹	7.9	22.0	6.8	11.9	1.0	14.7
その他親族	2.5	3.5	0.4	0.0	0.0	1.6
隣人・友人	2.1	1.2	1.1	0.0	0.5	0.5
ホームヘルパー	16.4	4.2	8.6	0.6	3.7	5.2
施設の職員	17.5	40.4	12.1	9.4	4.7	27.0
民間介助サービス(自費)	1.4	0.5	1.1	0.0	0.0	0.9
ボランティア	0.2	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0
雇用人(家事代行)	0.1	0.2	0.5	0.0	0.0	0.2
必要だがいない	3.3	1.4	4.5	0.6	2.1	2.7
介助の必要はない	27.3	3.3	38.3	7.5	66.5	14.3
その他	4.1	4.7	6.1	1.3	1.0	5.7
無回答	3.8	3.0	4.3	0.0	5.2	0.9

【主な介助者の年齢】

(%)

	身体障害 (n=442)	知的障害 (n=332)	精神障害 (n=228)	障害のある 子ども (n=144)	難病 (n=42)	発達障害 (n=325)
10歳代	0.7	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0
20歳代	2.0	0.9	0.4	2.8	2.4	0.9
30歳代	6.8	2.4	6.6	35.4	9.5	7.4
40歳代	9.3	6.6	14.5	51.4	26.2	18.2
50歳代	20.1	27.4	24.1	9.0	14.3	30.5
60歳代	29.9	32.8	25.4	0.0	31.0	24.6
70歳～74歳	15.4	15.7	11.4	0.0	14.3	9.5
75歳以上	14.3	10.5	14.0	0.0	2.4	6.8
無回答	1.6	3.6	2.2	1.4	0.0	2.2

【主な介助者の健康状態】

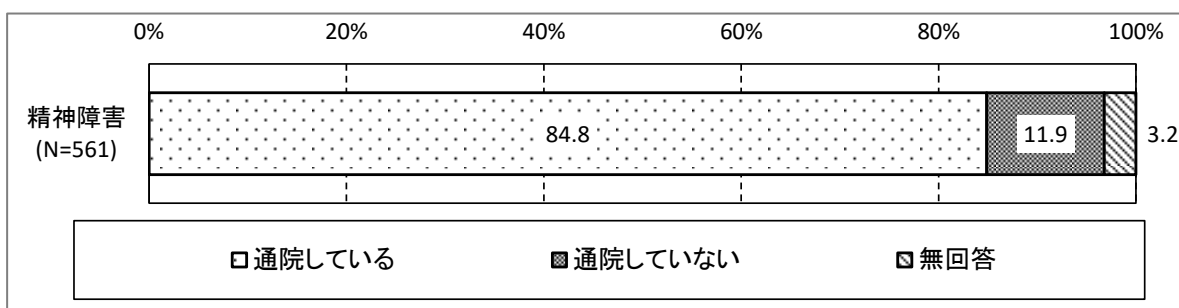


2. 通院・通所状況について（精神障害のある人のみ）

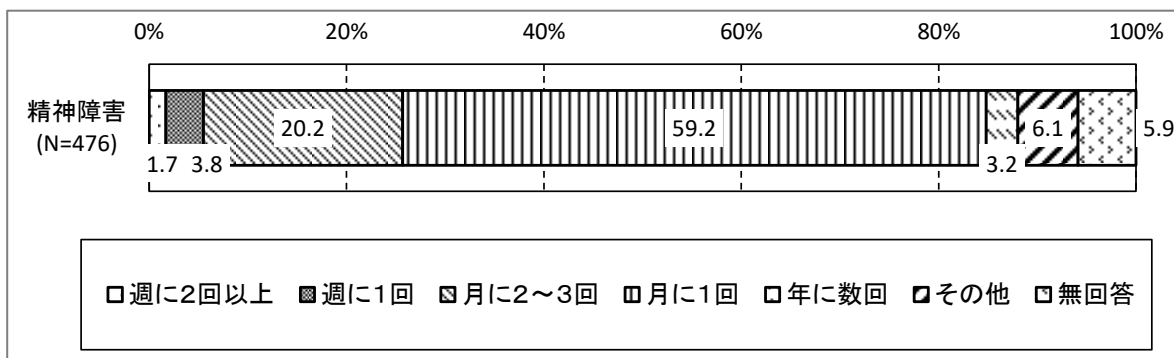
■精神科病院への通院状況について、精神障害のある人のうち、約8割が現在も通院しており、その頻度は約6割が月に1回となっています。また、約3割の精神障害のある人に入院経験があり、そのうち約4割は退院から5年が経過しています。

■福祉施設への通所状況について、約3割の人が通所しており、そのうち4割以上の人「障害福祉サービス事業所」に通所しています。福祉施設への通所歴は、「5年以上」が21.5%で最も高く、「2年～5年未満」も19.6%と、約4割の人が2年以上通所しています。

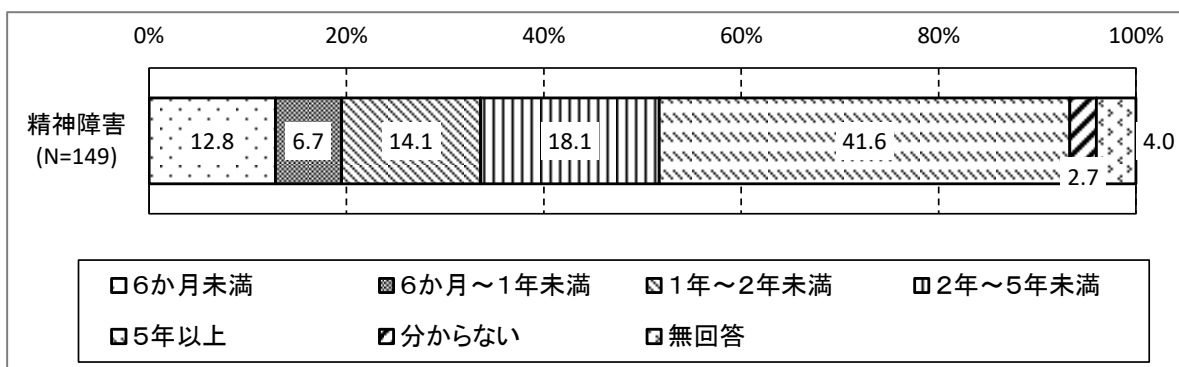
【通院状況】



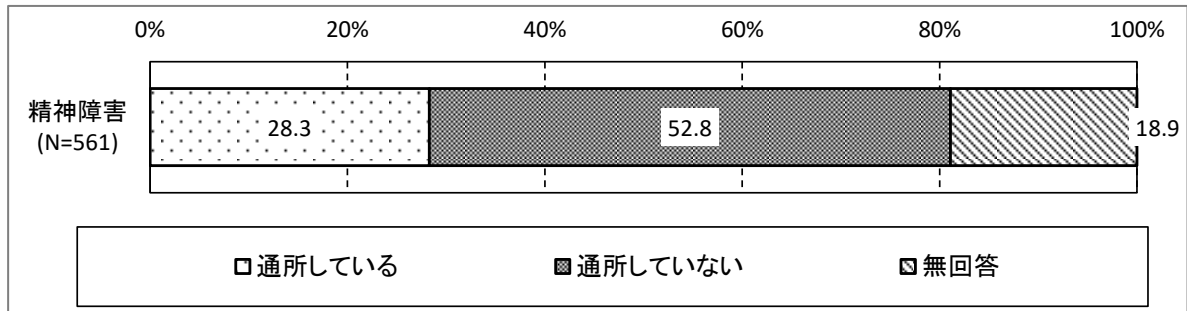
【通院の頻度】



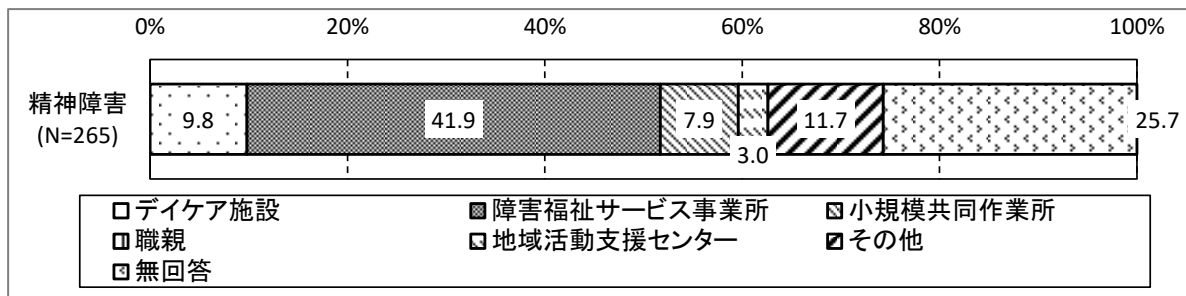
【退院後からの期間】



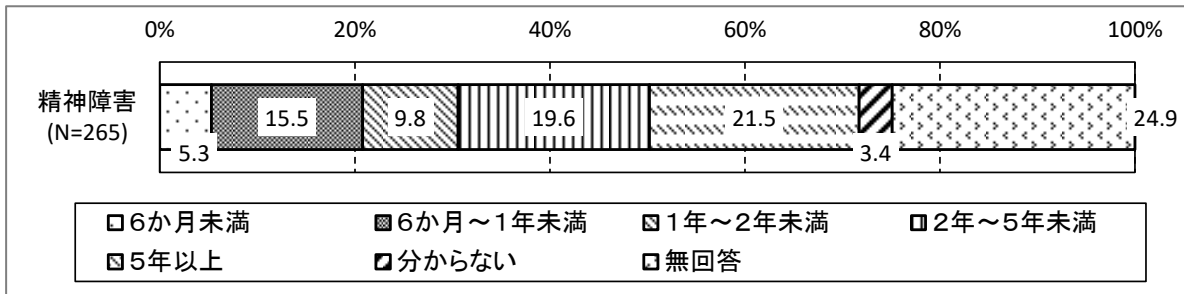
【福祉施設通所状況】



【通所中の福祉施設の種類】



【福祉施設の通所歴】

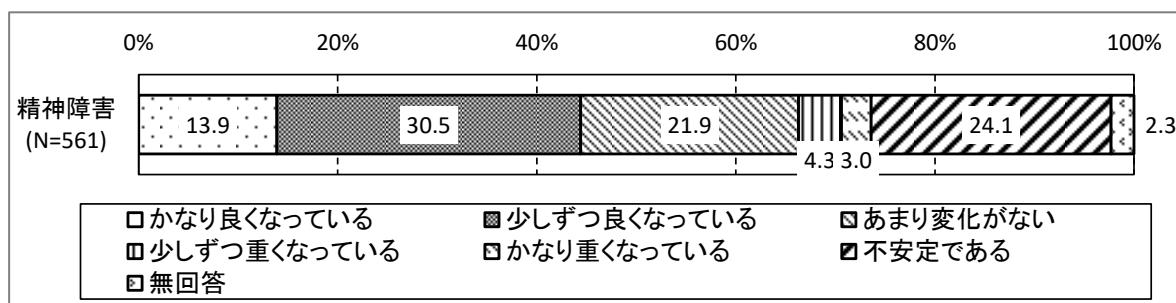


3. 心身の状況について（精神障害のある人のみ）

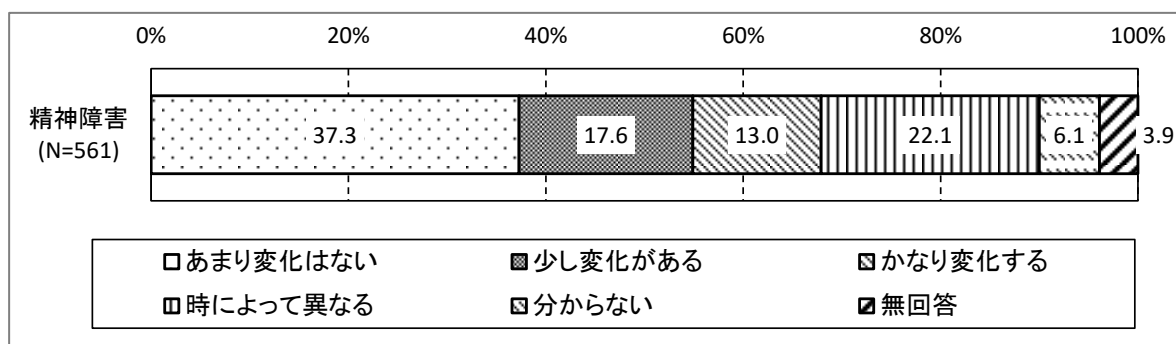
■現在の心の状態について尋ねたところ、「かなり良くなっている」「少しずつ良くなっている」を合わせた約4割の人が、心身が安定している状態である一方、「不安定である」とした人は24.1%でした。

■ADL（日常生活動作）、IADL（手段的日常生活動作）の変化については、いずれも約4割の人が「あまり変化はない」結果となりました。一方で、「少し変化がある」「かなり変化する」「時によって異なる」を合わせた約5割の人については、心の状態に変動がある結果となりました。

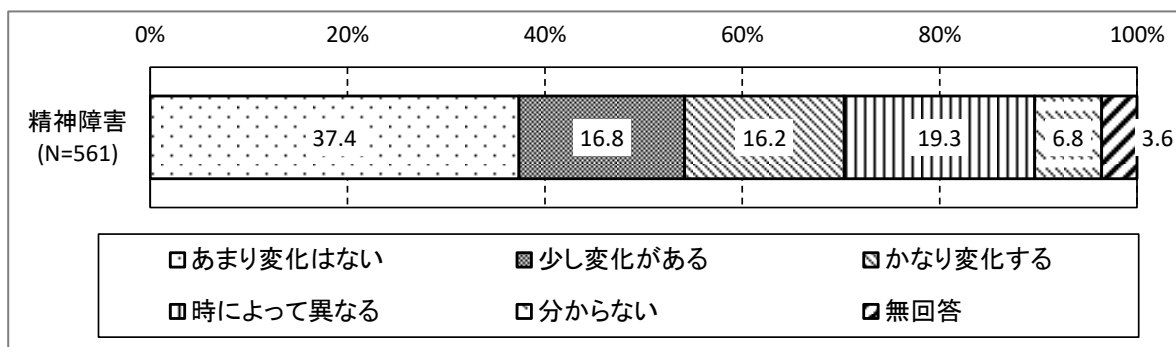
【現在の心の状態】



【心の状態に応じたADL（日常生活動作）の変化】



【心の状態に応じたIADL（手段的日常生活動作）の変化】

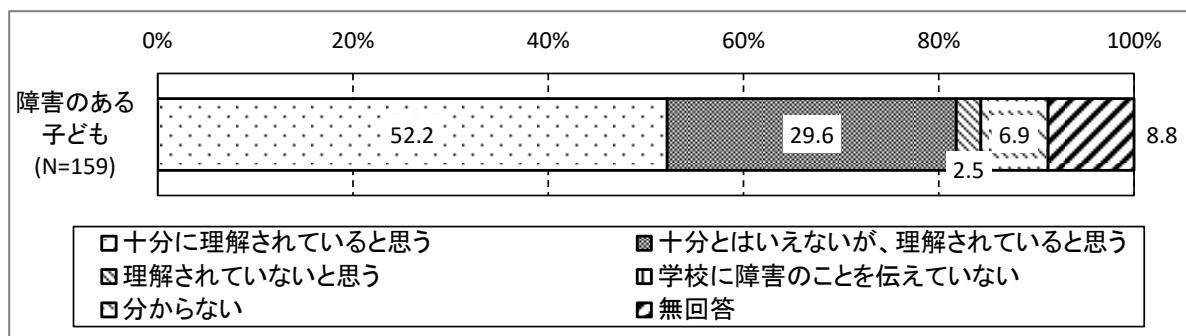


備考) 日常生活動作(ADL)…食事・更衣・移動・排泄・整容・入浴など生活を営む上で不可欠な基本的行動
手段的日常生活動作(IADL)…炊事・買い物・洗濯・薬の管理・財産管理・公共交通機関を利用しての一人での外出など、ADLを基にした社会生活上の複雑な動作

4. 学校や教育について（障害のある子どものみ）

■学校での発達障害に対する理解については、「十分に理解されている」が52.2%で最も高く、次いで「十分とはいえないが、理解されていると思う」が29.6%となっており、合わせて8割以上の人々が理解されていると感じている結果となりました。

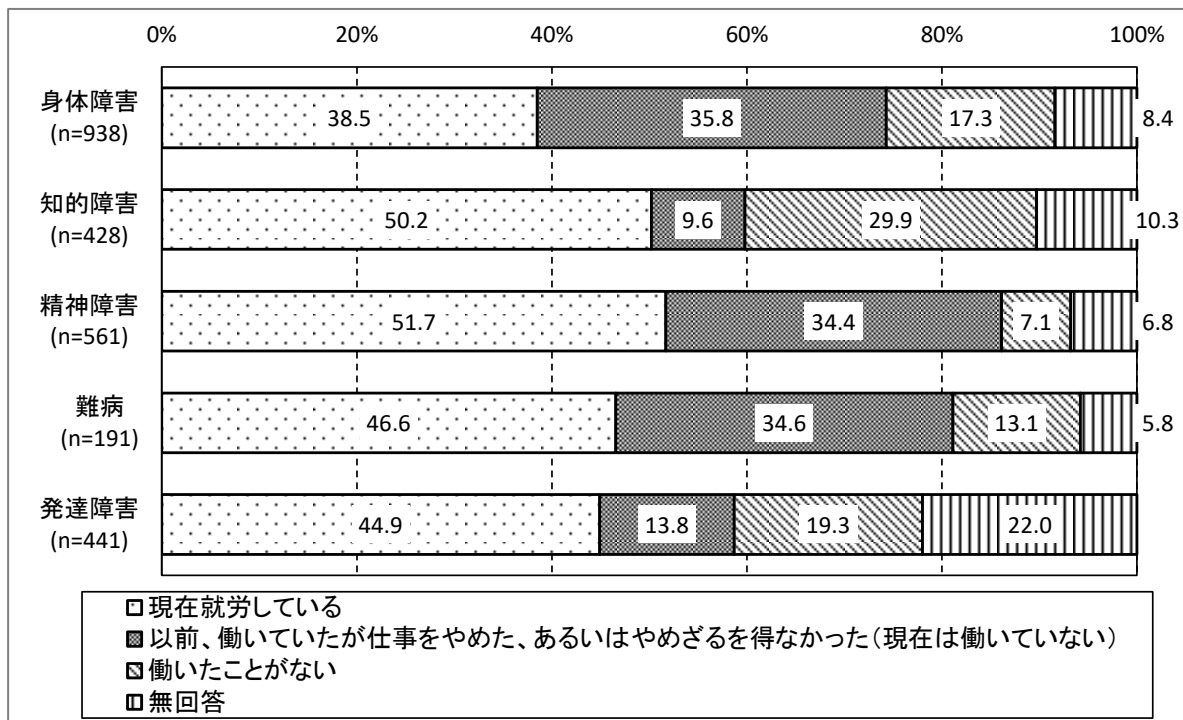
【発達障害について理解されていると思うか】



5. 仕事について

- 現在の就労の状況については、いずれの障害種別においても、約4～5割の人が現在就労しており、身体障害のある人、精神障害のある人、難病患者については、「過去に就労経験があるが現在は働いていない人」がそれぞれ3割程度となっています。
- 職種については、難病患者以外の障害種別では、「作業所での軽作業」、難病患者については、「医療、福祉」の割合が高くなっています。

【現在の就労状況】



【就労形態】

- 就労形態については、身体障害のある人、難病患者で正規雇用の割合が高くなっています。

	身体障害 (n=361)	知的障害 (n=215)	精神障害 (n=290)	難病 (n=89)	発達障害 (n=198)
正規雇用(正社員)で、他の社員と勤務条件等に違いはない	30.2	7.4	14.8	46.1	6.1
正規雇用(正社員)で、短時間勤務などの障害者配慮がある	4.4	5.1	5.9	4.5	7.1
パート・アルバイトなどの非正規雇用(短時間労働や派遣社員など)	21.1	25.6	31.4	28.1	32.3
自営業	6.9	0.5	2.1	5.6	0.5
家族従事者	1.1	0.0	0.0	4.5	0.0
内職など	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
在宅勤務	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
就労移行支援事業所・就労継続支援事業所・小規模共同作業所など	28.8	57.7	42.4	6.7	49.5
その他	4.7	2.3	1.4	4.5	2.0
無回答	2.2	1.4	2.1	0.0	2.5

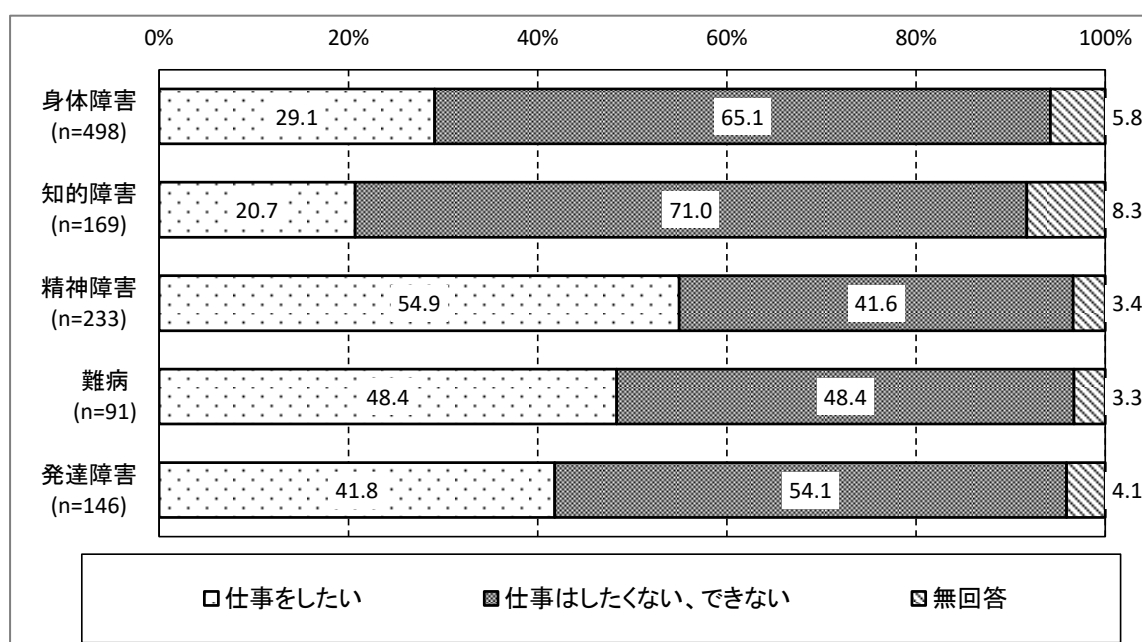
- 仕事を辞めた、あるいは辞めざるを得なかった主な理由としては、全ての障害種別で「障害や病気で身体的に働くことが困難になったため」の割合が高く、知的障害のある人、精神障害のある人、発達障害のある人では、「仕事をうまくこなしていくことが出来なかったため」「職場の人間関係がうまくいかなかったため」などを理由に挙げる人の割合も高くなっています。
- 今後の就労意向については、精神障害のある人、難病患者、発達障害のある人において「仕事をしたい」とする人がそれぞれ4割以上となっています。

【仕事を辞めた、あるいは辞めざるを得なかった主な理由】

＜複数回答＞

	身体障害 (n=336)	知的障害 (n=41)	精神障害 (n=193)	難病 (n=66)	発達障害 (n=61)
1位	障害や病気で身体的に働くことが困難になったため (64.3%)	仕事をうまくこなしていくことが出来なかったため (43.9%)	障害や病気で身体的に働くことが困難になったため (58.0%)	障害や病気で身体的に働くことが困難になったため (45.5%)	職場の人間関係がうまくいかなかったため (54.1%)
2位	仕事をうまくこなしていくことが出来なかったため (8.9%)	障害や病気で身体的に働くことが困難になったため (36.6%)	職場の人間関係がうまくいかなかったため (43.5%)	出産や育児など家庭の事情 (15.2%)	障害や病気で身体的に働くことが困難になったため (52.5%)
3位	職場の人間関係がうまくいかなかったため (7.4%)	職場の人間関係がうまくいかなかったため (29.3%)	仕事をうまくこなしていくことが出来なかったため (41.5%)	職場の人間関係がうまくいかなかったため (9.1%)	仕事をうまくこなしていくことが出来なかったため (49.2%)

【今後の就労意向】



■働くために必要なことについては、難病患者以外の障害種別において、「障害にあった仕事であること」「周囲が自分の障害を理解してくれること」とする人の割合が高くなっています。精神障害のある人、難病患者については、「勤務時間や日数の短縮などの配慮があること」の割合が高く、勤務条件の配慮を必要とする人が多い傾向となりました。

【働くために必要なこと】

＜複数回答＞					
	身体障害 (n=938)	知的障害 (n=428)	精神障害 (n=561)	難病 (n=191)	発達障害 (n=441)
1位	障害にあった仕事であること (39.8%)	障害にあった仕事であること (41.8%)	周囲が自分の障害を理解してくれること (55.3%)	勤務時間や日数の短縮などの配慮があること (40.3%)	周囲が自分の障害を理解してくれること (46.5%)
2位	周囲が自分の障害を理解してくれること (37.2%)	周囲が自分の障害を理解してくれること (40.2%)	勤務時間や日数の短縮などの配慮があること (47.6%)	通院などの保障があること (31.9%)	障害にあった仕事であること (45.6%)
3位	勤務時間や日数の短縮などの配慮があること (29.3%)	職場により指導者や先輩がいること (34.8%)	障害にあった仕事であること (46.5%)	周囲が自分の障害を理解してくれること (29.8%)	職場により指導者や先輩がいること (41.7%)
4位	通勤手段が確保できること (28.4%)	通勤手段が確保できること (31.5%)	職場により指導者や先輩がいること (45.5%)	賃金が妥当であること (27.2%)	コミュニケーション支援が充実していること (34.0%)
5位	勤務場所におけるバリアフリー等の配慮があること (25.6%)	コミュニケーション支援が充実していること (30.4%)	通勤手段が確保できること (39.6%)	通勤手段が確保できること (20.4%)	通勤手段が確保できること (32.7%)

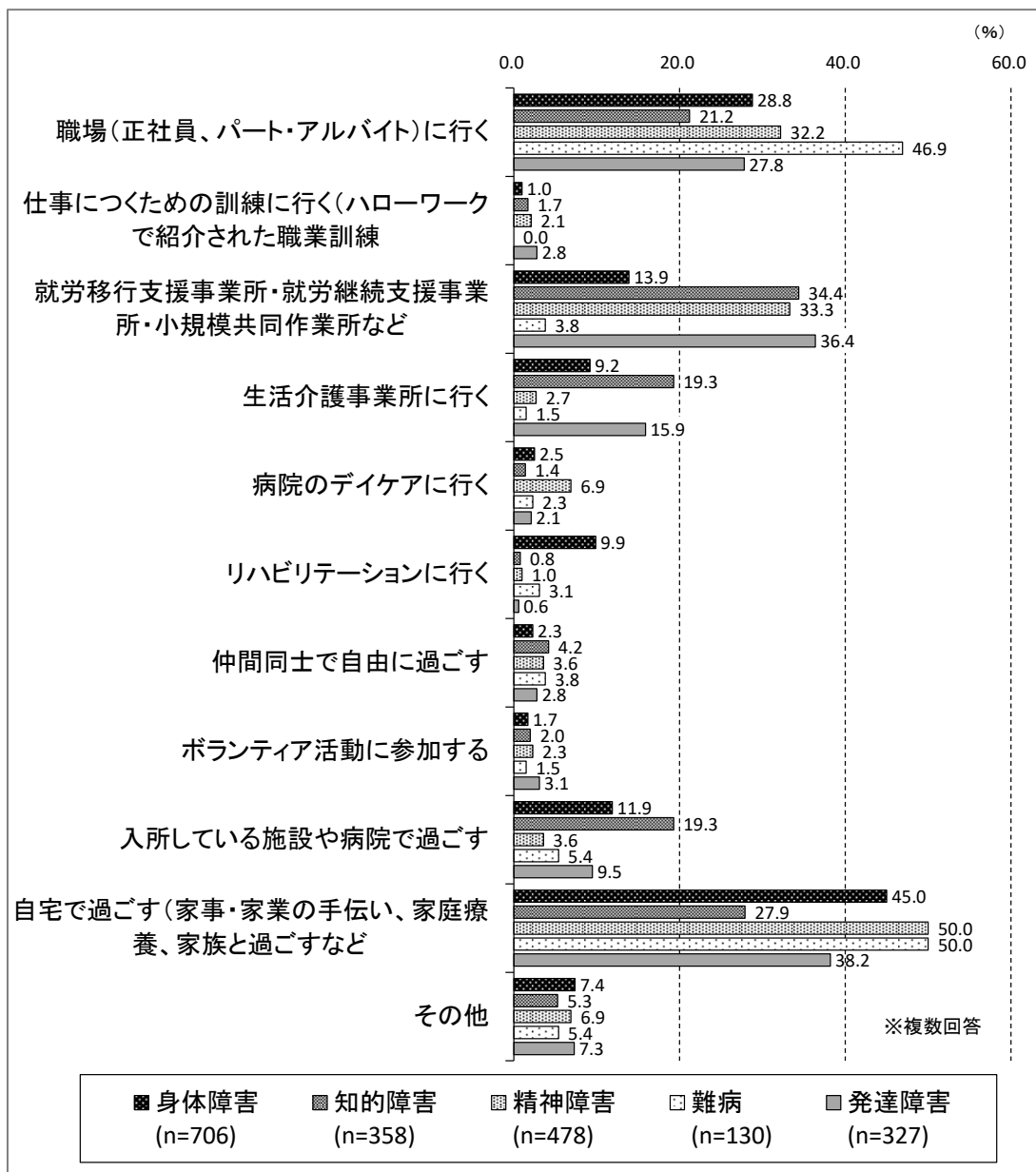
「その他」の具体例

- パワハラ、いじめがないこと
- 配偶者の協力と理解
- 仕事や作業的なことをスモールステップで指導できる方がいること
- 病院の日などの希望休が確保されていること
- 自分の障害の内容を理解し、職場に対して合理的配慮内容を説明できること
- 何か困った事があった時に相談に気軽に乗ってくれる人が居ること
- 子どもの障害についての理解
- 子どもを学校や幼稚園などへ預けられる環境にあること

6. 日中の過ごし方や外出の状況について

■学校を卒業した人について、身体障害のある人、精神障害のある人、難病患者、発達障害のある人では、「自宅で過ごす（家事・家業の手伝い、家庭療養、家族と過ごすなど）」がそれぞれ最も高くなっています。知的障害のある人については、「就労移行支援事業所・就労継続支援事業所・小規模共同作業所など」が34.4%で最も高く、精神障害のある人、発達障害のある人においても、それぞれ3割以上となっています。難病患者については、「職場（正社員、パート・アルバイト）に行く」も46.9%となっています。

【学校を卒業した人】



備考 1) 障害のある子どもは除いています。

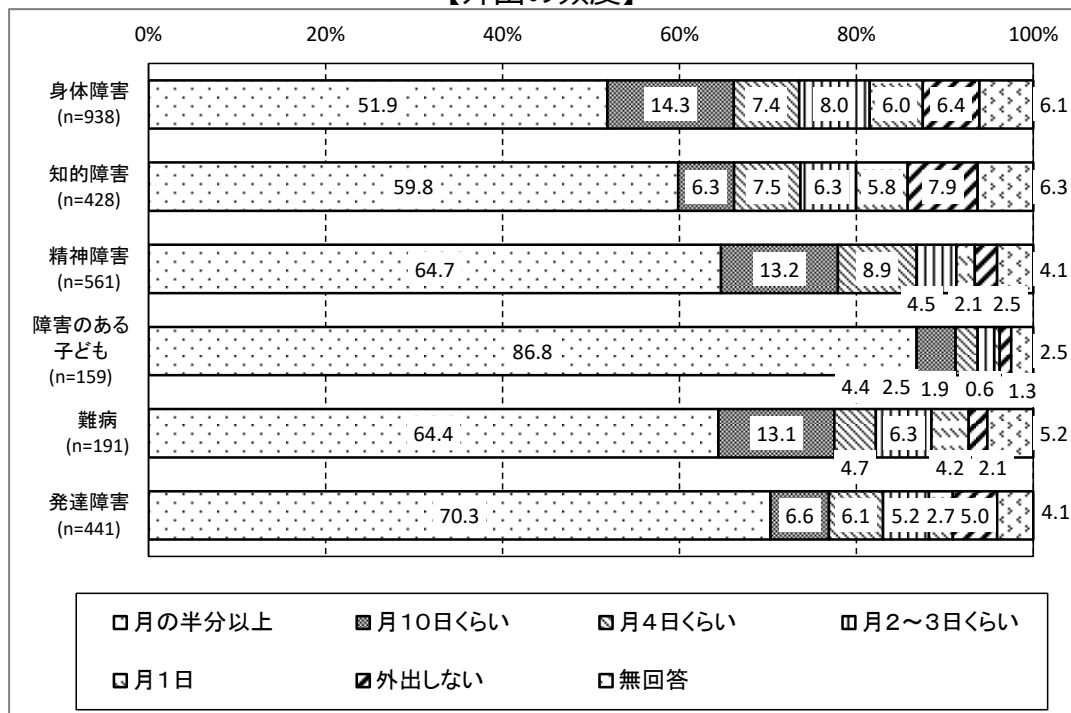
備考 2) 無回答者は除いています。

「その他」の具体例 ■ デイサービスに行く ■ 通院 ■ 買い物

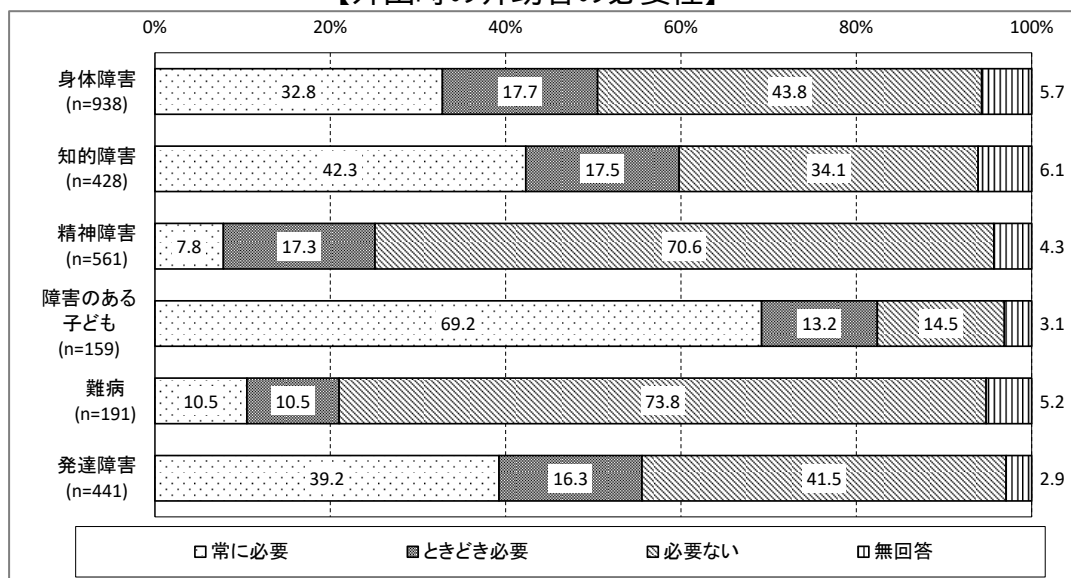
■外出の頻度については、全ての障害種別において、月に半分以上外出する人が5割以上となっており、障害のある子どもについては86.8%と高くなっています。

■外出時に介助者を必要とする人は、身体障害のある人、知的障害のある人、障害のある子ども、発達障害のある人で高い傾向となっています。

【外出の頻度】



【外出時の介助者の必要性】



■外出時に困ったことについては、身体障害のある人、障害のある子ども、難病患者については「歩道や建物に階段や段差が多い」、知的障害のある人、精神障害のある人、発達障害のある人では、「まわりの人の目が気になる」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

【外出時に困ったこと】

<複数回答>

	身体障害 (n=938)	知的障害 (n=428)	精神障害 (n=561)	障害のある 子ども (n=159)	難病 (n=191)	発達障害 (n=441)
1位	歩道や建物に 階段や段差が多い (43.8%)	まわりの人の 目が気になる (18.0%)	まわりの人の 目が気になる (25.3%)	歩道や建物に 階段や段差が多い (28.9%)	歩道や建物に 階段や段差が多い (14.7%)	まわりの人の 目が気になる (27.0%)
2位	歩道に障害物が 多い (23.6%)	歩道や建物に 階段や段差が多い (11.7%)	休憩する スペースが少ない (19.4%)	まわりの人の 目が気になる (22.0%)	休憩する スペースが少ない (11.0%)	発作など突然の 身体の変化が心配 (15.2%)
3位	歩道がなく、 また狭いため 安心して 通行できない (18.6%)	休憩する スペースが少ない (11.4%)	発作など突然の 身体の変化が心配 (19.4%)	外出先に障害者用ト イレがない (20.8%)	外出先に障害者用ト イレがない (8.9%)	休憩する スペースが少ない (14.7%)
4位	タクシーを利用 することが多く 経費がかかる (17.1%)	公共交通機関の 路線が少ない (10.7%)	公共交通機関の 料金割引サービスが ないものがあり 経費がかかる (16.9%)	歩道がなく、 また狭いため 安心して 通行できない (19.5%)	歩道に障害物が 多い (7.9%)	公共交通機関の 料金割引サービスが ないものがあり 経費がかかる (14.3%)
5位	休憩する スペースが少ない (16.5%)	困ったとき まわりの人が 助けてくれない (10.3%)	公共交通機関の 路線が少ない (15.3%)	休憩する スペースが少ない (18.2%)	タクシーを利用 することが多く 経費がかかる (6.8%)	公共交通機関の 路線が少ない (12.9%)

- 「その他」の具体例
- 身障者用の駐車スペースを、健常者が利用していることが多い
 - 多目的トイレを、一般の人が利用していることが多い
 - 信号機が青でも渡りきれないことが多い
 - ヘルプマークの理解がない
 - 区役所や公共施設のエレベーターが狭いので介助を要する。車椅子利用者は利用しにくい。
 - 障害者用の駐車場が少ない
 - 歩道の車道側が傾斜しており、まっすぐ歩きにくい、もしくは転倒する

第3節 支援体制と障害福祉サービス

1. 生活に関する悩みなどの相談について

- 生活に関する悩み・不安の相談先としては、全ての障害種別において、「家族や親せき」の割合が最も高くなっています。
- 家族や親せき以外の相談先については、身体障害のある人、知的障害のある人、発達障害のある人で「利用している施設や事業所の職員」、精神障害のある人で「通院している医療機関の職員」、障害のある子どもで「通院施設や学校などの先生」、難病患者で「友人・知人」など、障害種別により傾向に違いがみられます。

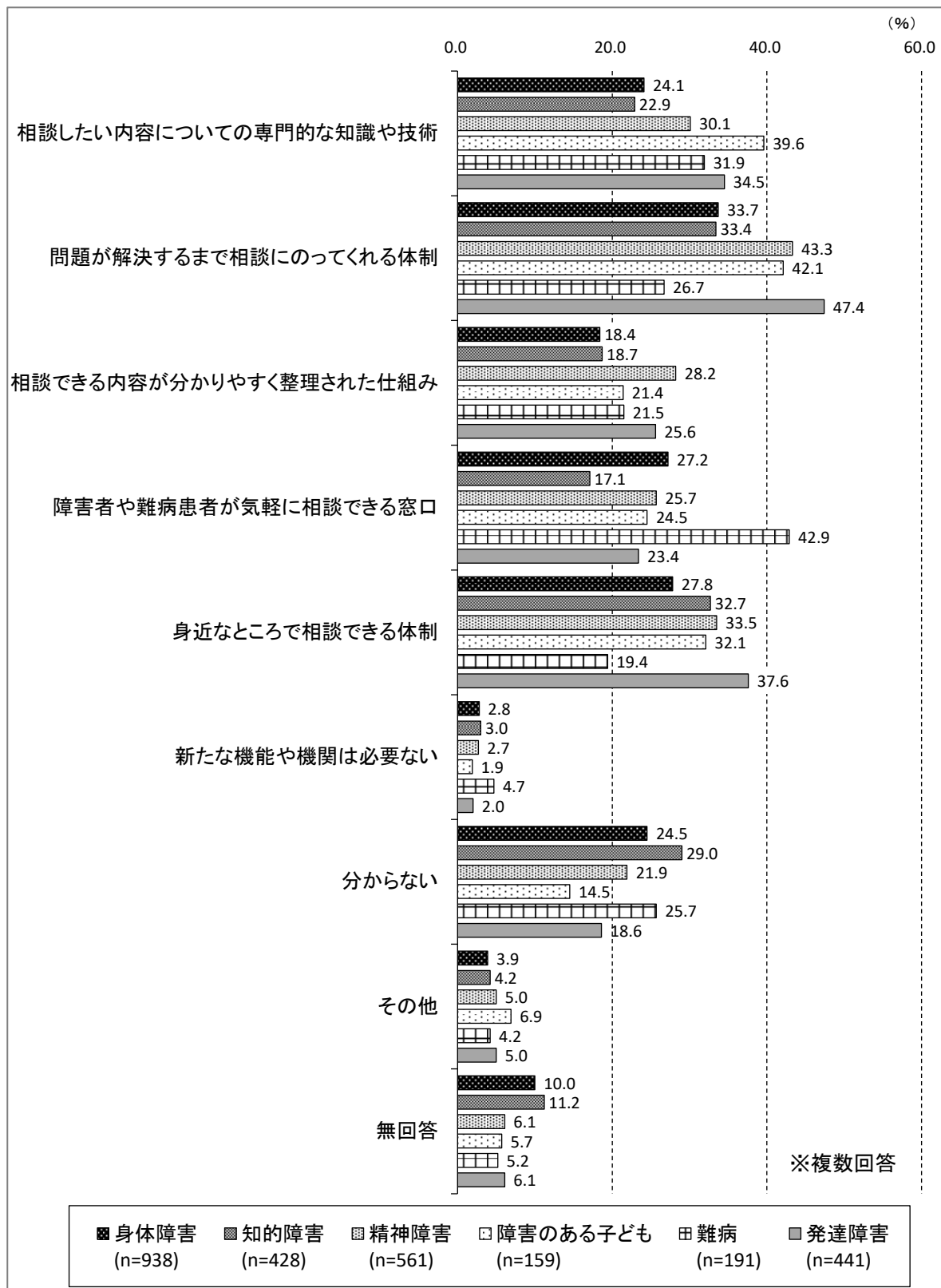
【生活に関する悩み・不安の相談相手】

<複数回答>

	身体障害 (n=938)	知的障害 (n=428)	精神障害 (n=561)	障害のある 子ども (n=159)	難病 (n=191)	発達障害 (n=441)
1位	家族や親せき (56.0%)	家族や親せき (56.1%)	家族や親せき (61.7%)	家族や親せき (59.7%)	家族や親せき (75.9%)	家族や親せき (63.9%)
2位	利用している施設や 事業所の職員 (23.6%)	利用している施設や 事業所の職員 (39.7%)	通院している 医療機関の職員 (35.5%)	通院施設や 学校などの先生 (40.9%)	友人・知人 (33.0%)	利用している施設や 事業所の職員 (37.6%)
3位	友人・知人 (21.0%)	相談支援事業所 (相談支援専門員) (15.4%)	利用している施設や 事業所の職員 (26.9%)	利用している施設や 事業所の職員 (27.7%)	通院している 医療機関の職員 (20.4%)	通院している 医療機関の職員 (19.5%)
4位	通院している 医療機関の職員 (13.1%)	友人・知人 (10.7%)	友人・知人 (25.3%)	友人・知人 (17.6%)	利用している施設や 事業所の職員 (7.3%)	相談支援事業所 (相談支援専門員) (17.9%)
5位	相談支援事業所 (相談支援専門員) (12.6%)	通院している 医療機関の職員 (8.4%)	相談支援事業所 (相談支援専門員) (16.0%)	通院している 医療機関の職員 (16.4%)	職場の上司や同僚 (6.8%)	友人・知人 (15.9%)
へ 参 考 ▽	相談しない (11.6%)	相談しない (8.6%)	相談しない (4.5%)	相談しない (8.8%)	相談しない (9.9%)	相談しない (7.7%)
	相談できる人が いない (5.0%)	相談できる人が いない (4.2%)	相談できる人が いない (8.2%)	相談できる人が いない (3.1%)	相談できる人が いない (3.7%)	相談できる人が いない (6.3%)

■相談機関に必要なこととして、難病患者以外の障害種別においては、「問題が解決するまで相談にのってくれる体制」とする人が多く、難病患者については、「障害者や難病患者が気軽に相談できる窓口」を求める声が多い傾向となっています。

【相談機関に必要なこと】



2. 障害福祉サービス等の利用について

- 障害福祉サービス等の利用状況については、いずれの障害種別においても、利用率が高いもので2～3割程度となっていますが、障害のある子どもでは、「放課後等デイサービス」が51.6%と利用率が高くなっています。
- 地域生活支援等の利用状況についても、いずれの障害種別においても利用率は1割未満から1割程度となっているものの、障害のある子どもでは「日常生活用具の給付・貸与」が25.2%と高くなっています。
- 障害福祉サービス、地域生活支援ともに、利用率が比較的低いものの、利用サービスに対する満足度は、全体的に高くなっています。

【障害福祉サービス等の利用状況と満足度】

	利用率												満足度					
	身体障害 (n=938)		知的障害 (n=428)		精神障害 (n=561)		障害のある 子ども (n=159)		難病 (n=191)		発達障害 (n=441)		身体 障害	知的 障害	精神 障害	障害の ある 子ども	難病	発達 障害
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	%	%	%	%	%	%
居宅介護(ホームヘルプ)	147	(15.7)	23	(5.4)	45	(8.0)	5	(3.1)	9	(4.7)	21	(4.8)	(80.3)	(87.0)	(84.4)	(60.0)	(77.8)	(76.2)
重度訪問介護	36	(3.8)	4	(0.9)	3	(0.5)	3	(1.9)	4	(2.1)	5	(1.1)	(80.6)	(75.0)	(100.0)	(66.7)	(75.0)	(60.0)
同行援護	44	(4.7)	2	(0.5)	1	(0.2)	1	(0.6)	0	(0.0)	6	(1.4)	(86.4)	(100.0)	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(83.3)
行動援護	10	(1.1)	22	(5.1)	11	(2.0)	1	(0.6)	1	(0.5)	20	(4.5)	(60.0)	(95.5)	(90.9)	(100.0)	(0.0)	(95.0)
重度障害者等包括支援	28	(3.0)	6	(1.4)	4	(0.7)	1	(0.6)	2	(1.0)	5	(1.1)	(89.3)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
施設入所支援	93	(9.9)	61	(14.3)	7	(1.2)	2	(1.3)	4	(2.1)	33	(7.5)	(89.2)	(88.5)	(100.0)	(50.0)	(50.0)	(87.9)
短期入所(ショートステイ)	58	(6.2)	71	(16.6)	7	(1.2)	15	(9.4)	0	(0.0)	55	(12.5)	(82.8)	(90.1)	(71.4)	(73.3)	(0.0)	(87.3)
療養介護	25	(2.7)	14	(3.3)	5	(0.9)	3	(1.9)	3	(1.6)	10	(2.3)	(84.0)	(71.4)	(60.0)	(66.7)	(66.7)	(70.0)
生活介護	147	(15.7)	97	(22.7)	16	(2.9)	3	(1.9)	4	(2.1)	59	(13.4)	(85.0)	(87.6)	(81.3)	(66.7)	(75.0)	(88.1)
自立生活援助	39	(4.2)	11	(2.6)	41	(7.3)	1	(0.6)	3	(1.6)	17	(3.9)	(82.1)	(90.9)	(85.4)	(100.0)	(100.0)	(88.2)
共同生活援助(グループホーム)	12	(1.3)	31	(7.2)	42	(7.5)	1	(0.6)	2	(1.0)	24	(5.4)	(75.0)	(93.5)	(83.3)	(0.0)	(50.0)	(87.5)
自立訓練(機能訓練、生活訓練)	34	(3.6)	29	(6.8)	33	(5.9)	13	(8.2)	3	(1.6)	37	(8.4)	(76.5)	(93.1)	(84.8)	(92.3)	(66.7)	(97.3)
就労移行支援	23	(2.5)	20	(4.7)	56	(10.0)	0	(0.0)	4	(2.1)	36	(8.2)	(69.6)	(85.0)	(80.4)	(0.0)	(100.0)	(83.3)
就労継続支援	79	(8.4)	86	(20.1)	106	(18.9)	0	(0.0)	5	(2.6)	88	(20.0)	(88.6)	(84.9)	(86.8)	(0.0)	(60.0)	(89.8)
就労定着支援	9	(1.0)	16	(3.7)	35	(6.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	25	(5.7)	(55.6)	(87.5)	(88.6)	(0.0)	(0.0)	(96.0)
児童発達支援	2	(0.2)	0	(0.0)	3	(0.5)	44	(27.7)	1	(0.5)	30	(6.8)	(100.0)	(0.0)	(66.7)	(84.1)	(100.0)	(83.3)
医療型児童発達支援	1	(0.1)	2	(0.5)	0	(0.0)	16	(10.1)	0	(0.0)	9	(2.0)	(100.0)	(50.0)	(0.0)	(75.0)	(0.0)	(77.8)
放課後等デイサービス	3	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.4)	82	(51.6)	1	(0.5)	52	(11.8)	(33.3)	(0.0)	(50.0)	(92.7)	(100.0)	(94.2)
居宅訪問型児童発達支援	1	(0.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.6)	0	(0.0)	1	(0.2)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(100.0)
保育所等訪問支援	1	(0.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	7	(4.4)	0	(0.0)	4	(0.9)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(71.4)	(0.0)	(75.0)
福祉型障害児入所施設	5	(0.5)	2	(0.5)	0	(0.0)	1	(0.6)	1	(0.5)	6	(1.4)	(80.0)	(50.0)	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(66.7)
医療型障害児入所施設	6	(0.6)	3	(0.7)	0	(0.0)	2	(1.3)	1	(0.5)	6	(1.4)	(83.3)	(66.7)	(0.0)	(50.0)	(100.0)	(83.3)
障害児相談支援	10	(1.1)	17	(4.0)	9	(1.6)	80	(50.3)	1	(0.5)	64	(14.5)	(80.0)	(70.6)	(100.0)	(82.5)	(100.0)	(82.8)
計画相談支援	192	(20.5)	143	(33.4)	128	(22.8)	79	(49.7)	7	(3.7)	177	(40.1)	(79.7)	(81.8)	(85.9)	(82.3)	(85.7)	(81.9)
地域移行支援	17	(1.8)	5	(1.2)	9	(1.6)	3	(1.9)	0	(0.0)	7	(1.6)	(82.4)	(80.0)	(88.9)	(33.3)	(0.0)	(71.4)
地域定着支援	17	(1.8)	7	(1.6)	10	(1.8)	2	(1.3)	1	(0.5)	9	(2.0)	(94.1)	(85.7)	(90.0)	(100.0)	(100.0)	(88.9)

【地域生活支援等の利用状況と満足度】

	利用率											満足度						
	身体障害 (n=938)		知的障害 (n=428)		精神障害 (n=561)		障害のある 子ども (n=159)		難病 (n=191)		発達障害 (n=441)		身体 障害	知的 障害	精神 障害	障害の ある 子ども	難病	発達 障害
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	%	%	%	%	%	%
成年後見制度利用支援事業	20	(2.1)	22	(5.1)	5	(0.9)	0	(0.0)	1	(0.5)	8	(1.8)	(80.0)	(77.3)	(80.0)	(0.0)	(100.0)	(87.5)
手話通訳派遣事業	6	(0.6)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(1.3)	1	(0.5)	2	(0.5)	(66.7)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	(100.0)	(50.0)
要約筆記派遣事業	6	(0.6)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	(66.7)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
日常生活用具の給付・貸与	142	(15.1)	15	(3.5)	6	(1.1)	40	(25.2)	9	(4.7)	31	(7.0)	(84.5)	(86.7)	(83.3)	(85.0)	(88.9)	(93.5)
移動支援事業	67	(7.1)	35	(8.2)	3	(0.5)	6	(3.8)	2	(1.0)	28	(6.3)	(76.1)	(82.9)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(78.6)
地域活動支援センター	20	(2.1)	15	(3.5)	8	(1.4)	1	(0.6)	3	(1.6)	12	(2.7)	(80.0)	(86.7)	(87.5)	(100.0)	(66.7)	(91.7)
訪問入浴サービス事業	15	(1.6)	3	(0.7)	2	(0.4)	2	(1.3)	2	(1.0)	3	(0.7)	(86.7)	(100.0)	(50.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
福祉ホーム	8	(0.9)	3	(0.7)	6	(1.1)	0	(0.0)	1	(0.5)	3	(0.7)	(75.0)	(66.7)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(66.7)
日中一時支援事業(日帰りショート)	25	(2.7)	30	(7.0)	10	(1.8)	28	(17.6)	2	(1.0)	44	(10.0)	(96.0)	(76.7)	(70.0)	(78.6)	(50.0)	(81.8)
パソコンサポーター	10	(1.1)	1	(0.2)	3	(0.5)	1	(0.6)	0	(0.0)	2	(0.5)	(70.0)	(100.0)	(66.7)	(100.0)	(0.0)	(50.0)
障害者スポーツ教室	16	(1.7)	16	(3.7)	6	(1.1)	10	(6.3)	1	(0.5)	14	(3.2)	(62.5)	(87.5)	(83.3)	(80.0)	(100.0)	(85.7)
中途視覚障害者緊急生活訓練事業	13	(1.4)	1	(0.2)	1	(0.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.2)	(92.3)	(100.0)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
重度障害者大学等進学支援事業	1	(0.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)

【障害福祉サービスの利用状況別、今後3年以内のサービス利用予定】

		サンプル 数	今後3年以内の利用予定									
			増加		変化なし		減少		利用しない		無回答	
			人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
居宅介護(ホームヘルプ)	利用している	229	38	(16.6)	154	(67.2)	9	(3.9)	1	(0.4)	27	(11.8)
	使用していない	1,094	23	(2.1)	10	(0.9)	1	(0.1)	948	(86.7)	112	(10.2)
重度訪問介護	利用している	50	14	(28.0)	30	(60.0)	0	(0.0)	1	(2.0)	5	(10.0)
	使用していない	1,161	10	(0.9)	10	(0.9)	0	(0.0)	1,041	(89.7)	100	(8.6)
同行援護	利用している	48	11	(22.9)	30	(62.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	7	(14.6)
	使用していない	1,178	14	(1.2)	7	(0.6)	0	(0.0)	1,052	(89.3)	105	(8.9)
行動援護	利用している	45	7	(15.6)	31	(68.9)	1	(2.2)	1	(2.2)	5	(11.1)
	使用していない	1,167	18	(1.5)	4	(0.3)	0	(0.0)	1,049	(89.9)	96	(8.2)
重度障害者等包括支援	利用している	41	12	(29.3)	18	(43.9)	1	(2.4)	0	(0.0)	10	(24.4)
	使用していない	1,177	12	(1.0)	5	(0.4)	1	(0.1)	1,059	(90.0)	100	(8.5)
施設入所支援	利用している	167	4	(2.4)	124	(74.3)	3	(1.8)	6	(3.6)	30	(18.0)
	使用していない	1,107	16	(1.4)	6	(0.5)	0	(0.0)	993	(89.7)	92	(8.3)
短期入所(ショートステイ)	利用している	151	43	(28.5)	85	(56.3)	3	(2.0)	3	(2.0)	17	(11.3)
	使用していない	1,125	32	(2.8)	2	(0.2)	3	(0.3)	977	(86.8)	111	(9.9)
療養介護	利用している	50	4	(8.0)	27	(54.0)	3	(6.0)	3	(6.0)	13	(26.0)
	使用していない	1,162	13	(1.1)	5	(0.4)	1	(0.1)	1,050	(90.4)	93	(8.0)
生活介護	利用している	267	19	(7.1)	195	(73.0)	4	(1.5)	10	(3.7)	39	(14.6)
	使用していない	1,027	18	(1.8)	2	(0.2)	2	(0.2)	911	(88.7)	94	(9.2)
自立生活援助	利用している	95	12	(12.6)	56	(58.9)	7	(7.4)	5	(5.3)	15	(15.8)
	使用していない	1,152	31	(2.7)	7	(0.6)	1	(0.1)	1,019	(88.5)	94	(8.2)
共同生活援助(グループホーム)	利用している	88	5	(5.7)	45	(51.1)	10	(11.4)	3	(3.4)	25	(28.4)
	使用していない	1,169	24	(2.1)	6	(0.5)	0	(0.0)	1,023	(87.5)	116	(9.9)
自立訓練(機能訓練、生活訓練)	利用している	112	15	(13.4)	69	(61.6)	7	(6.3)	3	(2.7)	18	(16.1)
	使用していない	1,110	15	(1.4)	5	(0.5)	0	(0.0)	997	(89.8)	93	(8.4)
就労移行支援	利用している	103	16	(15.5)	53	(51.5)	9	(8.7)	9	(8.7)	16	(15.5)
	使用していない	1,147	28	(2.4)	6	(0.5)	1	(0.1)	1,003	(87.4)	109	(9.5)
就労継続支援	利用している	276	30	(10.9)	172	(62.3)	11	(4.0)	10	(3.6)	53	(19.2)
	使用していない	1,028	25	(2.4)	8	(0.8)	2	(0.2)	912	(88.7)	81	(7.9)
就労定着支援	利用している	60	8	(13.3)	24	(40.0)	9	(15.0)	5	(8.3)	14	(23.3)
	使用していない	1,147	28	(2.4)	7	(0.6)	0	(0.0)	1,009	(88.0)	103	(9.0)
児童発達支援	利用している	50	11	(22.0)	34	(68.0)	2	(4.0)	1	(2.0)	2	(4.0)
	使用していない	1,072	3	(0.3)	2	(0.2)	0	(0.0)	989	(92.3)	78	(7.3)
医療型児童発達支援	利用している	19	4	(21.1)	12	(63.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(15.8)
	使用していない	1,087	4	(0.4)	3	(0.3)	0	(0.0)	992	(91.3)	88	(8.1)
放課後等デイサービス	利用している	88	11	(12.5)	62	(70.5)	3	(3.4)	3	(3.4)	9	(10.2)
	使用していない	1,025	13	(1.3)	2	(0.2)	1	(0.1)	933	(91.0)	76	(7.4)
居宅訪問型児童発達支援	利用している	2	0	(0.0)	2	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	使用していない	1,075	4	(0.4)	1	(0.1)	0	(0.0)	987	(91.8)	83	(7.7)
保育所等訪問支援	利用している	8	0	(0.0)	7	(87.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(12.5)
	使用していない	1,062	7	(0.7)	3	(0.3)	0	(0.0)	979	(92.2)	73	(6.9)
福祉型障害児入所施設	利用している	9	0	(0.0)	5	(55.6)	0	(0.0)	0	(0.0)	4	(44.4)
	使用していない	1,067	5	(0.5)	0	(0.0)	1	(0.1)	982	(92.0)	79	(7.4)
医療型障害児入所施設	利用している	12	1	(8.3)	6	(50.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	5	(41.7)
	使用していない	1,062	2	(0.2)	1	(0.1)	1	(0.1)	986	(92.8)	72	(6.8)
障害児相談支援	利用している	117	10	(8.5)	87	(74.4)	4	(3.4)	0	(0.0)	16	(13.7)
	使用していない	978	2	(0.2)	1	(0.1)	0	(0.0)	892	(91.2)	83	(8.5)
計画相談支援	利用している	549	31	(5.6)	416	(75.8)	22	(4.0)	6	(1.1)	74	(13.5)
	使用していない	680	12	(1.8)	3	(0.4)	0	(0.0)	615	(90.4)	50	(7.4)
地域移行支援	利用している	34	4	(11.8)	19	(55.9)	0	(0.0)	3	(8.8)	8	(23.5)
	使用していない	1,143	24	(2.1)	3	(0.3)	1	(0.1)	1,004	(87.8)	111	(9.7)
地域定着支援	利用している	37	6	(16.2)	21	(56.8)	1	(2.7)	1	(2.7)	8	(21.6)
	使用していない	1,140	24	(2.1)	3	(0.3)	0	(0.0)	1,013	(88.9)	100	(8.8)

【地域生活支援等の利用状況別、今後3年以内のサービス利用予定】

		サンプル 数	今後3年以内の利用予定									
			増加		変化なし		減少		利用しない		無回答	
			人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
成年後見制度利用支援事業	利用している	48	0	(0.0)	37	(77.1)	1	(2.1)	0	(0.0)	10	(20.8)
	使用していない	1,217	18	(1.5)	6	(0.5)	0	(0.0)	1,060	(87.1)	133	(10.9)
手話通訳派遣事業	利用している	9	0	(0.0)	8	(88.9)	0	(0.0)	1	(11.1)	0	(0.0)
	使用していない	1,181	3	(0.3)	1	(0.1)	0	(0.0)	1,079	(91.4)	98	(8.3)
要約筆記派遣事業	利用している	6	0	(0.0)	3	(50.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(50.0)
	使用していない	1,183	5	(0.4)	2	(0.2)	0	(0.0)	1,067	(90.2)	109	(9.2)
日常生活用具の給付・貸与	利用している	212	35	(16.5)	143	(67.5)	2	(0.9)	4	(1.9)	28	(13.2)
	使用していない	1,030	24	(2.3)	1	(0.1)	0	(0.0)	926	(89.9)	79	(7.7)
移動支援事業	利用している	113	18	(15.9)	64	(56.6)	3	(2.7)	2	(1.8)	26	(23.0)
	使用していない	1,139	38	(3.3)	4	(0.4)	0	(0.0)	991	(87.0)	106	(9.3)
地域活動支援センター	利用している	47	7	(14.9)	27	(57.4)	2	(4.3)	3	(6.4)	8	(17.0)
	使用していない	1,178	28	(2.4)	4	(0.3)	1	(0.1)	1,047	(88.9)	98	(8.3)
訪問入浴サービス事業	利用している	24	2	(8.3)	13	(54.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	9	(37.5)
	使用していない	1,212	9	(0.7)	4	(0.3)	0	(0.0)	1,082	(89.3)	117	(9.7)
福祉ホーム	利用している	18	0	(0.0)	10	(55.6)	2	(11.1)	4	(22.2)	2	(11.1)
	使用していない	1,192	11	(0.9)	3	(0.3)	0	(0.0)	1,080	(90.6)	98	(8.2)
日中一時支援事業(日帰リショート)	利用している	95	14	(14.7)	60	(63.2)	3	(3.2)	0	(0.0)	18	(18.9)
	使用していない	1,142	29	(2.5)	5	(0.4)	1	(0.1)	1,000	(87.6)	107	(9.4)
パソコンサポーター	利用している	15	1	(6.7)	12	(80.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(13.3)
	使用していない	1,208	33	(2.7)	4	(0.3)	0	(0.0)	1,065	(88.2)	106	(8.8)
障害者スポーツ教室	利用している	49	5	(10.2)	33	(67.3)	2	(4.1)	0	(0.0)	9	(18.4)
	使用していない	1,205	49	(4.1)	7	(0.6)	0	(0.0)	1,022	(84.8)	127	(10.5)
中途視覚障害者緊急生活訓練事業	利用している	15	3	(20.0)	10	(66.7)	1	(6.7)	0	(0.0)	1	(6.7)
	使用していない	1,152	9	(0.8)	3	(0.3)	0	(0.0)	1,051	(91.2)	89	(7.7)
重度障害者大学等進学支援事業	利用している	1	0	(0.0)	1	(100.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	使用していない	1,164	4	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	1,070	(91.9)	90	(7.7)

令和2年度北九州市障害福祉サービス等ニーズ把握調査
報告書（概要版）

令和2年12月

【調査主体】北九州市保健福祉局障害福祉企画課
【集計分析】株式会社日本統計センター

北九州市印刷物番号第2010105A号